

とうきょう

2008.10.1

No.2

支部会報

第76回東京支部研究会のご案内

日時：平成20年10月29日（水）18時00分～19時00分

場所：国立スポーツ科学センター 4F 特別会議室

(<http://www.jiss.naash.go.jp/access/syou.html>)

(本会報5頁参照)

入場：無料

テーマ：運動パフォーマンスに関わる遺伝子多型の探索

～JISSでの試み～

司会：定本 朋子 先生（日本女子体育大学）

演者：大岩 奈青 先生（国立スポーツ科学センター）

国内、さらに世界レベルで活躍するエリートアスリートは、遺伝的に有する潜在能力（身体的資質）と環境要因とがパフォーマンスの向上に最良の影響を及ぼした非常に稀な成功例といえる。もちろんトレーニングや栄養そしてコーチングといった環境因子は、エリートアスリートの育成には必要不可欠である。しかしこれらの要因だけでは説明できない可能性があることもまた否定できない。このため現時点では、運動能力は無数の環境・遺伝的要因によって決定される生理的現象であり、個人が元来有する身体能力や競技力は遺伝的要因にも強く左右されると考えられている。本講演では、こうした考え方をもとに近年急速に進歩している遺伝子解析技術を用いて探索されたヒトの身体能力に関わる遺伝子群、中でも種々のスポーツ種目において特に重要となる持久系、筋力系に関わる遺伝子多型について概説する。その後国立スポーツ科学センターにおける遺伝子多型探索の現状と今後の展望について言及する。

もくじ

- 第76回東京支部研究会のご案内（1）
- 第36回学会大会開催のお知らせ（2）
- 東京体育学研究2008年度報告目次（案）（3）
- 新入会員（4）
- 国立スポーツ科学センターへのアクセス（5）

第 36 回学会大会開催のお知らせ

平成 20 年度 (社) 日本体育学会東京支部第 36 回学会大会を下記の要領で開催します。会員の皆様には、研究発表などに奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

(社) 日本体育学会東京支部第 36 回学会大会要領

日 時：平成 21 年 3 月 7 日 (土)

場 所：東京大学駒場キャンパス数理科学研究棟

内 容 (予定)：教育講演，大学院紹介，一般研究発表など

参加費：無料

発表形式：ポスター発表+口頭発表 (2~3 分の予定，演題数により変更有り)

演題申し込み〆切：平成 21 年 1 月 30 日 (金)

演題申込先： 電子メール：muraoka@idaten.c.u-tokyo.ac.jp

(社) 日本体育学会 東京支部 庶務 村岡哲郎

〒153-8902 目黒区駒場 3-8-1

東京大学 大学院総合文化研究科 生命環境科学系 身体運動科学研究室内

(社) 日本体育学会 東京支部 庶務 村岡哲郎

ファクス：04-2947-6826

発表資格：

- (1) 登壇発表者は (社) 日本体育学会東京支部会員に限る。
- (2) 共同研究者に (社) 日本体育学会他支部会員を含む場合は支部名を明記する (備考 1)。
- (3) 共同研究者に (社) 日本体育学会未加入者を含む場合は，理由書を添付する (備考 1 と 2)。

発表申込様式：

発表の申込は，原則として，電子メール (muraoka@idaten.c.u-tokyo.ac.jp) で受け付けます。メールタイトルは，「(社) 日本体育学会東京支部第 36 回学会大会演題申し込み」とし，下記 6 項目を，添付ファイル (テキスト形式またはマイクロソフトワード形式，Windows Vista をお使いの場合は XP 対応で保存してください) にてご送付願います。その際，メール本文に必ず添付ファイルのファイルフォーマット (例：マイクロソフトワード 2002 形式，Windows XP) を記載してください。なお，今回より，東京体育学賞ならびに若手研究奨励賞 (大学院生対象) の審査は，審査を希望される方のみを対象として行います。また，審査希望の方には，原則として，翌年度の (社) 日本体育学会東京支部の機関紙への投稿をお願いいたします。

- (1) 発表演題名
- (2) 発表者および共同研究者の氏名と所属 (登壇発表者には○印を付ける)
- (3) 発表者が大学院生か否か
- (4) 東京体育学賞，若手研究奨励賞の審査希望の有無
- (5) 440 字以内の発表要旨
- (6) 連絡先住所，電話番号および電子メールアドレス

備考：

- (1) 発表資格の 2 項及び 3 項に該当する共同研究者は，大会当日 1 名につき 1,000 円を納付する。
- (2) 未加入者については，審査の上，可否を決定する。
- (3) 発表演題の採否と発表部門の決定は，発表要旨に基づいて研究委員会で行う。
- (4) 大会プログラムの編集上，発表要旨原稿に若干の字句修正をすることがある。

東京体育学研究 2008 年度報告目次（案）

第 35 回学会大会一般研究発表論文

年齢及び身長に伴う打撃動作の発達

井筒智也（国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科）ほか

高校サッカーにおけるライフスキルの獲得に関する研究

平山浩輔（日本体育大学大学院）ほか

短期大学「水泳」履修生の授業に対する印象評価と気分調査

宮坂麻耶（東洋英和女学院大学）ほか

バレエ・ダンス障害治療に関する研究

里見悦郎（武蔵野美術大学）ほか

運動イメージ中の皮質脊髄路の興奮性に皮膚感覚が及ぼす影響

水口暢章（早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科）ほか

十種競技選手における筋力特性:円盤投選手との比較

田中悠士郎（国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科）ほか

中高齢者を対象とした自重スクワット動作中の筋活動水準と下肢筋パワーとの関連

大庭尚子（東京大学大学院総合文化研究科）ほか

発育期の野球選手における筋形態と投球能力の関係

中塔大輔（国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科）ほか

他査読中論文 4 編

新入会員（平成 20 年 4 月 30 日～平成 20 年 9 月 22 日）

計 57 名

国立スポーツ科学センターへのアクセス

- ・ 都営地下鉄三田線 本蓮沼駅下車徒歩 10 分
- ・ JR 埼京線・京浜東北線・宇都宮線・高崎線 赤羽駅下車
赤羽駅西口よりバス
 - 4 番乗場 池袋行・日大病院行 国立西が丘競技場北門下車徒歩 5 分
 - 5 番乗場 国立西が丘競技場行 国立西が丘競技場下車徒歩 3 分



<http://www.jiss.naash.go.jp/access/syou.html> を参照

会報「とうきょう」2008年 第2号

発行日：2008年10月1日，編集：広報委員会

発行人：(社)日本体育学会東京支部 理事長 深代千之

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系身体運動科学研究室

e-mail : muraoka @ idaten.c.u-tokyo.ac.jp , FAX : 04-2947-6826